

給食だより



多良木町学校給食センター

文責 工藤小百合

10月は、「食品ロス削減月間」

日本は、おいしい食べ物がたくさんあり、豊かな国です。その一方で、まだ食べられるのに捨てられてしまっている「食品ロス」も多いです。

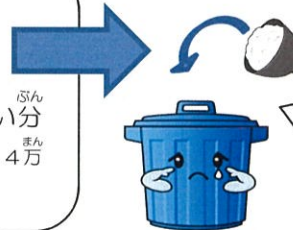
食品ロスってどんなもの？

- ① 食べ残し
- ② 賞味期限切れなどにより使用・提供されず、食べられないまま捨てられたもの
- ③ 安売りなどでたくさん買ったが、食べきれなかったもの
- ④ 野菜の皮など食べられる部分まで厚くむきすぎてしまったもの

日本の食品ロスは、1年間でどのくらいの量だろう？



日本の食品ロスは、
約612万トン
＝東京ドーム約5はい分
※東京ドーム（体積約124万
リットル
立方メートル）



日本人1人が、1
日1ぱい分のごは
んを捨てているこ
とと同じ量

食品ロスを減らすために、①・②どちらかに○をつけよう！

- (1) 給食は、①たくさんついで、食べきれなければ残せばよい。
②食べられる量をついで、残さず食べる。
- (2) 給食が残っていたら、①みんなで少しずつ分け合って食べる。
②ゴミはリサイクルされるため、残してもよい。
- (3) 家では、①食べられる量を考えて買う。
②食べたいものはたくさん買う。
- (4) 家で食べきれない場合は、①食べきれないので、捨ててもしょうがない。
②適切に保存して、次の食事で早めに食べる。

② (4) ① (3) ① (2) ② (1) など

10月10日「目の愛護デー」

給食では、10日、11日に目により栄養が多く含まれている食材をたくさん使います。いつもがんばってくれている自分の目を労りましょう。

